

おわま 議会だより

奥戸小学校
150周年記念学芸会

主な内容 9月定例会

- P2 9月定例会
- P3 歳入・歳出諸決算認定
- P4~5 一般質問
- P6~7 特別委員会・議会のうごき・
議会のできごと①
議会のできごと②・編集後記

[発行] 青森県大間町議会 [編集] 議会広報編集委員会

〒039-4692 青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道20-4

電話 0175-37-3029

第3回 9月定例会

令和7年第3回定例会を9月11日に開会し、9月18日に閉会しました。本議会に提案された議案12件はすべて原案とおり認定、可決、同意しました。

令和7年度 補正予算

一般会計	歳入の主なるもの	歳出の主なるもの	農林水産業費	民生費	国庫支出金	地方交付税	町債
歳入歳出それぞれ3億701万円を追加し、歳入歳出予算の総額を48億8,171万円とした。	歳入歳出それぞれ3億701万円を減額計上し、道路橋梁維持事業債3,000万円を追加計上し、防災設備整備事業債1,900万円を減額計上。	債2,760万円を減額計上し、道路橋梁維持事業債3,000万円を追加計上し、防災設備整備事業債1,900万円を減額計上。	45万円を計上し、繁殖センター費で飼料原料の高騰に伴い飼料費1,000万円を追加計上。	○歳入歳出それぞれ519万円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億3,494万円とした。	○県補助金で青森県核燃料物質等取扱税交付金2,341万円を追加計上。	○普通交付税の交付額の確定に伴い2億6,589万円を追加計上。	○起債対象事業費の精査に伴い過疎対策事業
土木費	道路橋梁費の道路橋梁維持費で道路維持補修工事（防災工事450万円、道路維持補修工事（防災工事）3,000万円を計上し、道路維持補修工事（緊白債事業）3,000万円をそれぞれ追加計上し、道路維持補修工事（緊白債事業）3,000万円を計上し、町道大間大間平21号線舗装工事500万円、下水道費で大間町下水道事業会計負担金721万円をそれぞれ追加計上。	○道路橋梁費の道路橋梁維持費で道路維持補修工事（防災工事450万円、道路維持補修工事（緊白債事業）3,000万円を計上し、町道大間大間平21号線舗装工事500万円、下水道費で大間町下水道事業会計負担金721万円をそれぞれ追加計上。	○農業費の畜産業費で内山展望台解体工事3	○社会福祉費の老人福祉費でシルバー人材センター事業委託料362万円を追加計上。	○国庫補助金で防災・安全交付金761万円を追加計上。	○県補助金で青森県核燃料物質等取扱税交付金2,341万円を追加計上。	○起債対象事業費の精査に伴い過疎対策事業
特別会計	後期高齢者医療会計	水道事業会計	下水道事業会計	教育委員会教育長	岩本 浩也 氏	佐藤 恵美子 氏	古畑 龍泉 氏
45万円を計上し、繁殖センター費で飼料原料の高騰に伴い飼料費1,000万円を追加計上。	○歳入歳出それぞれ519万円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億3,494万円とした。	○収益的収入及び支出で営業収益74万円、営業費用79万円、営業費用62万円を追加計上し、収益的収入の総額を1億7,173万円、収益的支出の総額を1億7,075万円とした。	○収益的収入及び支出で営業外収益280万円、営業費用540万円、営業外費用27万円を追加計上し、収益的収入の総額を2億35万円とした。	○収益的収入及び支出で営業外収益280万円、営業費用540万円、営業外費用27万円を追加計上し、収益的収入の総額を2億35万円とした。	○財政調整いたしました。620万円を追加計上。	○災害対策費で津波避難誘導標識設置業務委託料2,200万円を減額計上。	○農業費の畜産業費で内山展望台解体工事3

歲入・歲出諸決算審查特別委員會報告

令和6年度

歳入・歳出諸決算を

認定

①一般会計

歳入	収入済額	51億8,409万7,727円	収入未済額	6,069万2,182円	予算額との比較	263万5,273円
歳出	支出済額	50億 475万6,864円			不用額	1億8,197万6,136円

②国民健康保険特別会計

歳入	収入済額	8億1,936万5,734円	収入未済額	1億1,603万9,867円	予算額との比較	4,081万2,266円
歳出	支出済額	8億1,297万3,074円			不用額	4,720万4,926円

③後期高齢者医療特別会計

歳入	収入済額	7,255万9,639円	収入未済額	292万2,200円	予算額との比較	△263万8,639円
歳出	支出済額	6,547万9,991円			不用額	444万1,009円

④介護保険特別会計

歳入	収入済額	6億6,073万7,149円	収入未済額	1,453万1,544円	予算額との比較	1,470万3,851円
歳出	支出済額	6億2,258万7,853円			不用額	5,285万3,147円

⑤水道事業会計

	【1】 収益的収入及び支出	【2】 資本的収入及び支出
収入	決算額 1億7,124万5,630円	決算額 2億4,558万3,921円
	予算額に比べ決算額の増減 82万8,630円	予算額に比べ決算額の増減 △26万9,079円
支出	決算額 1億6,428万9,604円	決算額 3億2,924万8,337円
	不用額 704万 396円	不用額 602万2,663円

※資本的収入額が、資本的支出額に不足する額8,366万4,416円は当年度分消費税資本的収支調整額1,403万6,155円、当年度分損益勘定留保資金6,264万367円、繰越利益剰余金698万7,894円で補填した。

⑥下水道事業特別会計

	【1】収益的収入及び支出			【2】資本的収入及び支出		
収入	決算額	1億9,225万	667円	決算額	1億2,294万	6,400円
	予算額に比べ決算額の増減	1,830万	9,667円	予算額に比べ決算額の増減	△73万	8,600円
支出	決算額	1億9,531万	8,769円	決算額	1億5,554万	568円
	不用額	△2,606万	9,769円	不用額	556万	4,432円

※資本的収入額が、資本的支出額に不足する額3,259万4,168円は引継金494万7,303円、当年度分損益勘定留保資金2,764万6,865円で補填いた

町税及び各特別会計の収納対策として、県市町村税滞納整理機構へ依頼し、収納率向上を図っているが、各種税においては未収額が多額となっている。また、全国的にも注目の高い当町の太閤マグロを目玉とした、ふるさと応援寄附金においては増額傾向となつていていることからも、今後も各関係機関と連携した施策を講じていただきたい。

なお、公金の取り扱いに関しては、職員それぞれが公務員としての立場を改めて認識し、事務にあたつていただきたい。

一般会計の収入未済額の主なるものは町税である。特別会計の各会計の未済額も対前年度よりも増加している。不能欠損処理も毎年行われ、令和6年度は前年度と比較して少額となっているものの、平等性や住民感情を考慮すると時効中断の作業等を考える必要がある。

留意改善を要する事項
また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証書類と符合しており誤りのないものと認められた。

一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書並びに水道事業会計決算書、下水道事業会計決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は、それぞれの関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、誤りのないものと確認した。

審査の結果

監査委員から

7月30日津波警報発令 避難状況と課題を問う!!



堺 祐介 議員

質問時間 45分

町長
9時45分に町内全域に避難指示を発令、町内7箇所に避難所を開設し、防災無線で町内に周知を図るとともに避難者に水と食料の配布を行った。

津波警報が長期化することを見込み、14時10分には、開設した避難所に食料、水、毛布などを追加で搬入。21時16分に町内の避難指示を解除し、災害対策本部から警戒対策本部に切り替え、順次避難所の閉鎖を進め避難者が残っていた大間小学校を除き22時に避難所を閉鎖。大間小は、翌朝7時30分に避難者が退所し閉鎖。

カムチャツカ半島付近の震源とする地震が発生し大間町に津波警報が発表され避難指示が発令された。町の初動対応は?

再質問
当日の避難所の運営体制と避難状況は?

町長
大間小、大間中、勤労青少年ホーム、総合開発センター、奥戸交流館、奥戸小、農村婦人の家の7箇所を開設。職員は各施設2名体制とし、17時以降は4時間ごとに交替として対応。

避難者数は、最も多かったのは、

30日の11時30分時点の217人で、18時時点の避難者は16人。

避難された方の数を、避難所別

にお聞きしたい。

参事兼総務課長
大間小で60名、奥戸小が11名、大間中が18名、開発センター42名、勤労青少年ホームが22名、奥戸交流館が21名、材木婦人の家が2名、役場にも41名。

再質問

学校を除く指定された避難所にエアコンもない状態で、熱中症のリスクもあると思うが対応は?

参事兼総務課長

学校では、空き教室を開放しエアコンの設置した部屋を活用。未設置の施設に関しましては、窓を開けて風を通し、多めに飲み物の配布を行つて水分をとつていただくというような対応。避難所に、エアコン等の設置を含めて今後の検討課題。

1人暮らしの高齢者の避難対応は?

町長
令和5年度から一人暮らしに関わる自力避難が困難な方の個別避難計画の作成を進めしており、7月30日時点で17人の避難計画を作成しております。消防団や関係者による声掛け、避難支援も実際に行われ計画が活用されています。

津波等の災害直後は、行政や消防が迅速に駆けつけることが困難であるため地域で助け合う共助が重要です。今後も計画作成や支援体制の構築について、町民皆様のご協力をいただきながら取り組んでまいります。

避難者からの要望や意見は?

町長
水をもつと提供してほしいという要望がありました。

避難者の方には、避難者1人に1本ずつ配布しておりましたが、追加を求める声が多かったため追加配布を行つた。

避難目的地地点へ避難された方から、暑さの中で屋外に留まることが厳しいという意見がありました。

避難目的地地点は、津波から逃れ安全を確保する日安の

必ずしもその地域に住む職員を配置できるとは限りませんが、住民の皆さんと円滑な避難所運営ができるよう可能な限り配慮していきたいと考

基本的に古くなったり、壊れて使用しなくなつた漁船は、所有者の責任で適切に処分することとなる。使用されなくなった漁船の放置は、港の機能低下の要因となり大きな課題であると認識しているが、有効な手段が見い出

町長 基幹産業として支え
続け、その役割を終え
た漁船が海岸一帯に放
置されている状況で
す。

この状態を町長はど
のように感じ、どのよ
うな解決策を考えてい
るのか?

大間町海岸一帯の 放置漁船(廃船)について



傳法 正広 議員

質問時間 40分

いますが、町長のお考
えは？

國・県が制度化に至るまでは多難であり、それ相応の時間がかかる。抛り所がない船は、結局将来的に町が負担することになる。関心がある方々については、漁業者の負担軽減につながる施策がすごく大事。制度設計を政策として取り上げるべきだと思いますが、町長のお考えは？

奥戸漁業協同組合では、海苔養殖を行つてゐる。水産振興事業補助金で、大間漁協がウニ移植事業・仔ダコ放流を、奥戸漁協は経営強化対策事業を行つている。また、地域沿岸振興対策事業費補助金で、

基幹産業である水産業が衰退傾向にあるが、賑わいを創出し、かつ生活の生業として、どのような振興策を考へてきているのか？

基幹産業とされる 水産業の振興策について

に合った育てる漁業と
いうのは何かを方向転
換を計り考えていくべ
き。新たな取り組み
は?

課題克服と考えてい
る。今後両漁協と協議
を行い事業を展開して
いく。

問題児用と考えていた。今後両漁協と協議を行い事業を展開して

大間漁協がアイナメ放流、ナマコ放流、アワビ資源管理等を、奥戸漁協がヒトデ駆除等を行っている。

漁業振興では、つくり育てる漁業、新規就業者の確保が重要なので前向きに取り組んで頂きたい。漁業者の生業を守るために、町が率先して課題解決することを望みます。

マグロがあり、マグロに関しては、結構若い方の後継者が増えてる段階。減つてるのは沿岸漁業のコンブやナマコ漁で、できれば、ナマコで所得水準を上げ魅方につなげ沿岸漁業の活性化に向けて取り組みたい。

力の後継者が増えてる
に関しては、結構若い

殖と買い付け放流の2段階で実施し期待している。

再質問

後継者不足は、これから水産振興には重要なこと。独自の政策として町が取り組むビジョンがあるのか?

町長

特別委員会

発電施設等立地地域
基盤整備支援事業交
付金等)

議会のうごき

(令和7年8月～10月)

〔令和7年9月2日〕
（大間・函館フェリー
航路対策特別委員会）

災担当と面談 ④5月27日

（大間原子力発電所対策特別委員会）

1. 大間・函館航路存続に向けて経過報告について

2. 令和7年度の大間町の取り組みについて報告（オブザー

状況である。また、旅客船を建造できる造船所も限定されてきてる。

1. 新規制基準適合性 審査の対応状況について

場で「国において防災船舶の建造と航路の維持、または、自治体において防災船舶及び航路維持に係る補助金の創設」を要望

②5月16日

企画経営課担当者が、鉄道・運輸機構及び内海造船株式会社 東京支社と情報交換

⑥ 6月8日 前回、プロポーザル参加の三菱造船株式会社が当町で情報交換
内海造船株式会社に対し、新船建造費の見積りを依頼（8月4日に見積り算出が厳しく、参考までに隠岐広域連合の新船建造費を目安に。）との回答)

（4）新船建造費の財源は、現時点での見込みで、大間町が21億400万円を負担（島根県の隠岐広域連合での公募型プロポーザルで決定の事業費を参考としても、今後の動向次第では、金額が大きく変わる可能性がある。

企画経営課担当者が、鉄道・運輸機構及び内海造船株式会社 東京支社と情報交換
③5月20日

月4日に見積り算出
が厳しく、参考まで
に隠岐広域連合の新
造船建造費を日安に。
との回答)
(2) 造船業の現状で
は、世界的には造船

後の動向次第では、金額が大きく変わる可能性がある。

「波の評価」、並びに「火災影響評価」等の報告書は、地震・津波の審査における大きな論点で、基準地震動が確定したことを受け、建設中プラントの特性を活かした安全対策、それから適合性審査における主な論点等について説明する。MOX炉心に係る新知見、重大事故等対処施設のヒアリングも実施の対応事業者としては、2

24日 下北半島みちづくり総決起大会2025
(むつ市・議長)
26日 例月出納検査（宮野議会選出監査委員）
27日～29日 全国町村議会広報研修会（東京）
都・堺委員長及び山崎副委員長並びに吉
田委員（
田委員）

25日	22日	21日	20日	19日	18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日
リーエン・議長)	秋の交通安全及び防犯パレード（旧フエ リー埠頭・議長）	大間中学校体育祭	議案審議	第3回大間町議会定例会閉会 県町村議会議長会郡事務局長会議（青森 市・事務局長）	歳入歳出諸決算審査特別委員会 一般質問・議案審議 議会広報編集委員会	歳入歳出諸決算審査特別委員会 一般質問・議案審議 議会広報編集委員会	大間原子力発電所対策特別委員会 総務教育常任委員会及び産業民生常任委 員会	第3回大間町議会定例会開会 (むつ市・議長)	むつ総合病院病棟整備に関するセミナー	大間・函館フェリー航路対策特別委員会	議会運営委員会	9日	10日	11日	12日

大間町議会の出来事

研修会

東京都
渋谷公会堂
8月28日



令和7年度町村議会広報研修会



研修会

青森市
10月9日



026年10月までに説明を終える計画を提示しており、今後も、効率的に審査が進むよう、原子力規制委員会とコミュニケーションを図りながら、適宜調整を進めていきたい。

・住民の訴訟について

○頭弁論期日は開催されていない。次回第15回○頭弁論は9月30日。今後3回の開催が予定されている。

・函館市の訴訟について

第34回○頭弁論期日が9月2日に開催され、原告及び国が準備書面を提出。

○頭弁論は12月24日、第36回頭弁論は3月9日に開催が予定されている。

2. 建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について

026年10月までに説明を終える計画を提示しており、今後も、効率的に審査が進むよう、原子力規制委員会とコミュニケーションを図りながら、適宜調整を進めていきたい。

・住民の訴訟について

○頭弁論期日は開催されていない。次回第15回○頭弁論は9月30日。今後3回の開催が予定されている。

・函館市の訴訟について

第34回○頭弁論期日が9月2日に開催され、原告及び国が準備書面を提出。

○頭弁論は12月24日、第36回頭弁論は3月9日に開催が予定されている。

26日	県町村議会議長会理事会（青森市・議長及び事務局長）
27日	第4回本州最北端マラソン大会（ウイング・議長）
28日～30日	北海道泊原子力発電所及び函館送変電統括事業所視察（北海道泊村及び函館市・議員及び事務局）
29日	第50回青森県スポーツ少年団フェスティバル剣道競技会兼エンジョイ！剣道フェスティバル2025青森県予選会（大間中学校・議長）
30日	大間原子力発電所三ヶ町村協議会（健康福祉センター「スマイル」・正副議長及び大間原子力発電所対策特別委員会副委員長並びに事務局長）
10月	大間原子力発電所三ヶ町村協議会（健康福祉センター「スマイル」・正副議長及び大間原子力発電所対策特別委員会副委員長並びに事務局長）
1日	議会広報編集委員会
2日	第9回～10日 下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会（青森市・議員及び事務局）
3日	大間小学校学習発表会
4日	奥戸小学校創立150周年記念学芸会
5日	野議会選出監査委員及び事務局長）
6日	監査委員全国研修会（東京都・宮城県）
7日	大間町議会（議長）
8日	議会広報編集委員会
9日～10日	下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会（青森市・議員及び事務局）
11日	大間小学校学習発表会
12日	奥戸小学校創立150周年記念学芸会
13日	野議会選出監査委員及び事務局長）
14日	監査委員全国研修会（東京都・宮城県）
15日～17日	監査委員全国研修会（東京都・宮城県）
16日	大間小学校学習発表会
17日	奥戸小学校創立150周年記念学芸会
18日	野議会選出監査委員及び事務局長）
19日～21日	正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長・事務局長研修会（青森市・正副議長及び各常任委員長、議会運営委員長並びに事務局長）
20日	議会広報編集委員会
21日～22日	正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長・事務局長研修会（青森市・正副議長及び各常任委員長、議会運営委員長並びに事務局長）
23日	下北総合開発期成同盟会重点要望活動（青森市・議長及び事務局長）
24日	例月出納検査（宮野議会選出監査委員）
25日～11月1日	全国過疎問題シンポジウム2025 inとつとり（鳥取県・議長）

大間町議会の出来事

視察

東通村
7月24日

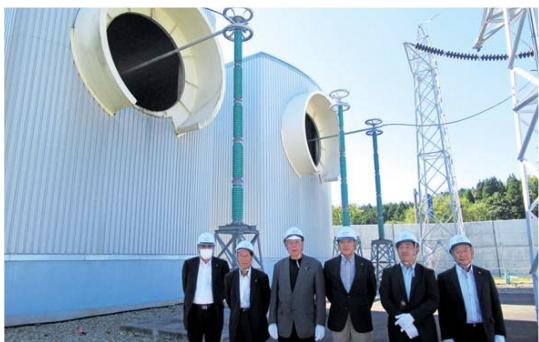
東通村営牧場・東通村農産物加工センター



視察

北海道
泊村～
函館市
9月28日～
30日

泊原子力発電所・函館送変電統括事業所・古川ケーブルヘッド



暑かつた夏も過ぎ、短い秋の涼しさが感じられます。

浜を見渡せば昆布漁の最盛期も終え、ブリやマグロの豊漁に期待したいものです。太平洋側ではイカも昨年と比べ豊漁のようですが、前沖の海峡は賑わったでしょうか？物価高騰のなか昆布は若干高値で取引され、少しは家計を助けることができたかな？

これから寒さを感じながら長い冬の季節を迎えますが、住民みなさんが健康でご家族の団らんが末長く続きますようにお祈り申し上げます。

記【傳法】

議会広報編集委員
委員長 堀山 崇
副委員長 佐々木 傳吉
委員 田法 崎正
信安 祐一
彦男 広利 介

編集後記